

ピアホームだより

2016. 10. 10

雑感

利用者には少なからず我がNPO法人のホームページについて説明しているのですが、どうにも関心が薄く、「そんなものありましたか？」との応えが返って来てしまいます。

先日、Kさんが、「たまに you-tube に動画や歌をアップしています！」とのお話をしてくれて、「障害があつて〇〇できない。」などと言っている時代と違う？—と、ちょっと驚きました。

私など時代に遅れまいと何とかついて行っているつもりですが、年齢とともにどうしても刻々進化する情報ツールへの関心が薄くなって行きます。

と、言うわけで皆さんに我がホームページを開いて説明をしていましたところ、我がホームの検索の用語に引っかかってきた様々な事項があり、興味が出てきました。

Google でピアホームと検索すると、我がホー

ムが1番に出てきます。大したものですね！

これはアドボケート会の第1ページではなく直接ピアホーム紹介のページに繋がっています。2番目はそのページに繋がるピアホーム説明の下層のページが出てきます。

当ホームページを立ち上げた最初のころの検索では、精神障害・ピアホームなどの用語を組み合わせて検索にかけていたものです。

当アドボケート会の運営する就労継続B事業所リトルハウスの主な作業として、ヤフーオークションへの出品がありますが、入札の際にホームページに誘導し見てもらったり、施設利用の問い合わせなどで検索されたり—と意外に多くの人に見ていただいているように思います。また、毎月最低1回は「通信」などの更新をして来たのがよかったのかもしれません。

「ピアホーム」という検索語では、有料老人ホーム、住宅関連会社などの住居系、また、リトルハウスのような作業所なども引っかかってきます。思いは同じ、ピアホームはよく使われる大変親しみやすい言葉だと思います。因みにSUUMO、マイナビ、HPMEなどのアパートマンション情報会社の名前を知ることになります。

我々はNPO法人アドボケート会、この正式名

称から検索をかけると、行政のNPO法人取り扱い機関が引っかかって来て、興味を沸かせてくれました。全国NPO法人Weblio辞書が引っかかり、その出所に内閣府NPOポータルサイトがあることが分かりました。また、福祉ナビ(東京都福祉ナビゲーション)が検出され、これは東京都福祉保健財団という組織の福祉施設検索ツールです。

東京都にはNPO法人情報提供システムというものがあり、板橋区でもNPO法人データベースがあります。そして我が法人の監査報告が検出されました。

各種地図にも掲載していただいています。

関心の高い記事が書かれていたせいも一部の「ピアホームだより」や「リトルハウス通信」が直接引っかかって来て驚きました。ネット社会の凄さは驚きです。自分の預かり知らぬところでどんどん情報が繋がって行っていますね。

清濁飲み込んでネットには巨大な情報が蓄積されているのですね。情報リテラシーが大切な所以です。

今月の予定

<10月13日> 病院・地域精神医学会

<10月23日> 家族と専門家の交流会